

## JP162 与根・具志干潟 (よね・ぐしひがた)

沖縄県：豊見城市、糸満市、那覇市

位置	N 26° 10′ E 127° 39′
面積	180ha

### 環境構成【干潟】

#### ■ 具志干潟

那覇空港に隣接する砂泥質干潟。陸地側には一部マングローブ林とヨシ原がある。小規模な岩場もあり、水鳥の休息場所となっている。

#### ■ 与根遊水地

住宅地に残され水路で海につながる遊水地。三角形の3辺がコンクリート護岸。内部は泥質干潟で一部がヨシ原になっている。



写真提供：山田泰広

### 選定理由

A1	クロツラヘラサギ
A4i	クロツラヘラサギ

### 保護指定

法的な担保がない、もしくはわずか（10パーセント未満）である

### 保全への脅威

- ・ゴミの不法投棄
- ・農薬の影響（周辺で使われたと思われる違法農薬が、同サイト内の与根三角池に流れ込み、クロツラヘラサギ3羽が救護された（1羽はすでに死亡）事があった。真相は究明されておらず今後も起こる可能性がある。三角池は沖縄島南部に飛来するクロツラヘラサギの集団餌場及び休息地になっており、このエリアの全個体に影響がでる可能性がある。）
- ・釣り人、レジャー客の影響（豊崎埋立地の人工ビーチは満潮時のシギ・チドリ類の休息場となっているが、ビーチ利用者が増え野鳥への影響が見られる。この状況が続くとこの休息場には飛来しなくなると思われる。サイト内には釣り場も多く釣り糸や釣針の放置が野鳥へ影響を与えている。特にクロツラヘラサギは採餌方法から被害にあいやすく、釣り糸に絡まった個体が同サイトで2度救護された。）
- ・周辺の都市化（豊崎埋立地の未造成エリアはコアジサシやシロチドリの繁殖エリアやシ

ギ・チドリの休息場として利用されているが、商業施設などが増え都市化が進んでいる。繁殖地としての環境はすでに厳しく次年度以降繁殖できるかも厳しい状況にある。）

- ・空港の拡張（具志干潟沖合いでは那覇空港の滑走路増設工事が始まっている。今後の野鳥への影響が懸念される。）

## 鳥類の個体数、生息環境の現状

- ・ IBA サイトにおける重要な鳥類（IBA 選定基準種）の個体数の変化  
変わらない
- ・ IBA 基準種の個体数のカウント調査実施の有無：有  
＜調査データの入手方法＞  
沖縄野鳥の会、日本クロツラヘラサギネットワーク
- ・ IBA 選定基準種の個体数に影響するような、IBA サイト内の重要な生息環境の変化：  
変化がある  
詳細、具体例等：那覇空港滑走路増設工事が始まっており選定基準種となっているクロツラヘラサギへの影響は小さいかもしれないが、シギ・チドリ類などへの影響が懸念される。
- ・ IBA 選定基準種の生息環境：悪い（40～70%が最適の状態）
- ・ IBA エリアの保全管理計画の有無：無

\* 与根干潟においては、豊崎地区の埋立地内の都市化が進み、シギ・チドリ類が休息できる未開発エリアが減少している。いずれ空き地はすべて建物が建てられると思われる。このエリアで繁殖するコアジサシやシロチドリも繁殖が確認されない年もあり、かろうじて数番の繁殖が見られる程度である。また、満潮時のシギ・チドリ類の休息地となっているビーチも利用者が増えており利用頻度が減ってきている。

具志干潟エリアは砂質化が進んでおりその影響かはわからないが水鳥の生息数は激減している。また、沖合いでは那覇空港の滑走路増設工事が行われており今後の影響が懸念される。

三角池エリアは大きな環境変化は見られないが、クロツラヘラサギの利用時間が減ってきている。

## **保全活動**

- ・ モニタリング調査：  
内容：調査・保全活動（沖縄野鳥の会、沖縄野鳥研究会、沖縄県獣医師会）  
漫湖保全事業及び鳥獣保護区管理に伴う広域水鳥生息調査（秋、冬、春）（環境省那覇事務所）  
鳥類生息調査（各月）（沖縄野鳥の会）

・環境教育活動：

内容：普及活動（沖縄野鳥の会、沖縄野鳥研究会、沖縄県獣医師会）  
探鳥会（沖縄野鳥の会）

### IBA サイトの保全に関する地域のグループ

- ・沖縄野鳥の会
- ・南部の自然を守る会

### 見られる鳥

クロツラヘラサギが毎年越冬する。沖縄本島で越冬するクロツラヘラサギの中心的な生息地となっている。

留鳥	-
夏鳥	-
冬鳥	クロツラヘラサギ
旅鳥	-
迷鳥	-



Sources: Esri, HERE, DeLorme, TomTom, Intermap, increment P. Corp., GEBCO, USGS, FAO, NPS, NRCAN, GeoBase, IGN, Kadaster NL, Ordnance Survey, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), swisstopo, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community